

地域再生計画 事後評価

地方創成汚水処理施設整備推進交付金

「自然環境と共生する住みよいまちづくり計画」

令和7年11月

佐賀県 白石町

地域再生計画（地方創生汚水処理整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	白石町	地域再生計画名	自然環境と共生する住みよいまちづくり計画
計画期間	令和2～令和6年度	評価責任者	白石町生活環境課長 川崎 美津夫		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
	目標1	目標2	基準年度	71.8%	年度	中間実績	74.0%	基準年度	最終実績	75.1%		指標総数	達成数	
	汚水人口普及率		R1	71.8%	R4	73.3%	74.0%	R6	75.1%	○	3	2	個人設置による浄化槽及び下水道事業の整備により、目標値を達成できた。	
	水質検査適合率		R1	60.4%	R4	68.1%	63.8%	R6	36.2%	△			中間報告までは目標を達成できていたが、最終年度において大きく下回った。検査時期に少雨のため水路の循環が悪くなったためと思われる。	
	定住促進	0人	R1	18人	R4	20人	30人	R6	348人	○			目標値を大きく上回ることができた。引き続き住宅確保事業や移住支援策を展開し更なる移住・定住者の確保を図る。	
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況		重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		
	指標1	汚水処理人口普及率6.6%の向上	R1	71.8%	R4	73.3%	74.0%	R6	75.1%	-				
	指標2									-				
③事業の進捗状況		事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
		計画	中間年度(R)	最終実績										
地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	特定環境保全公共下水道	8,000m	3,376m	3,378m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は42%であるが、令和4年度に生活排水処理施設整備構想の見直しを行っており、整備完了とする。									
	農業集落排水事業（機能強化事業）	1式		1式	2地区において機器の更新事業を行ったが、今後も引き続き機能強化を図っていく。									
	合併浄化槽（個人設置型）	300基	148基	243基	浄化槽の申請件数が伸び悩んでいるため、広報誌や戸別訪問等による啓発活動で申請件数の増加を図る。									
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	下水道等の接続促進	町内イベントで啓発活動			秋祭りのイベントでの下水道の接続や浄化槽の設置について啓発ができ、広く理解をしてもらうことができた。									
	公共用水域の水質改善についての啓発活動	公共用水域の水質改善について啓発活動を実施			広報誌等により啓発活動ができた。									
④評価方法	白石町環境審議会に諮り、最終目標の実施に関する評価を行う。													
⑤事後評価の公表方法	白石町ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画は、特定環境保全公共下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の一体的な整備により汚水処理人口普及率、水質検査適合率の向上や定住促進を目標とするもので、指標の汚水処理人口普及率及び定住促進については目標を達成できた。また、定住促進については目標値を大幅に増加することができた。しかしながら、水質検査適合率については、水質検査時期に少雨だったため目標に達することができなかった。令和4年度に白石町生活排水処理施設整備構想の見直しにより集合処理区域と個別処理区域の変更がありながら、目標を達成したことは、一体的な事業実施により効果的な整備が行えたためだと思える。													
⑦今後の方針等	今後についても、第三者の意見を取り入れながら、関係各課との連携を図り、汚水処理人口普及率の向上、河川・水路の水質改善及び定住促進の目標達成にむけて事業を推進していきたいと考えている。													